



かわら版

富士見

ぼりゅーむ：18

発行者：社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会

特別養護老人ホーム望みの門富士見の里

所在地：〒299-1607 千葉県富津市湊 701

TEL 0439-70-6500

「あけましておめでとーいございます」

簾 昭博

新年あけましておめでとーございます。

迎えた平成三十一年は、元号改正の年。四月までの四カ月と短い年となります。振り帰ると、昭和から平成に変わった時や二〇〇〇年を迎えたときは、カレンダー問題やパソコン二〇〇〇年問題など、色々な事柄が取りざたされており、私自身も多少振り回されたことを覚えています。今回の改正は、天皇陛下の申し出にはじまり様々な都合調整がなされたある意味準備された改正ですから、以前ほどの混乱はなく済みそうでなによりです。

さて、平成三〇年を振り返ると、富士見の里にとつては、かなり厳しい年でした。高齢者人口の急増に伴い高齢者施設の整備が加速し、近隣に競合する施設が増えたことで施設入所を待っている方が減少してきています。また、先の制度改革で長期利用の対象者が原則要介護度3以上となり、以前より施設入居者の平均介護度が上昇しており、その影響もあつてか入居者の入れ替わりが増加してきています。長年高齢者施設に携わっていますと退所の多い時期と少ない時期が繰り返す波のようなものがありますが、今年は特に大きな波が来ているようです。いずれにしても、波は穏やかであるにこしたことはありません。皆様には出来るだけ穏やかな環境の中で過ご

していただきたいと願っています。

巷では、オリンピック開催に向けた様々な取り組みや、これに乗せた商戦が始まっているやに感じます。前回日本でオリンピックが開催されたのは一九六四年・昭和三十九年、今からちょうど五十五年前のことでした。入居者の皆さんの平均年齢は八七歳ですから、三十歳前後を中心とした現役世代真つ盛りといったお年でした。戦後の復興から、一気に高度成長につながる大きなきっかけになった事でもありました。

今回のオリンピックにより日本経済にどのような追い風が吹くのか興味がわくところですが、現在の超高齢社会の一因であり、介護保険制度創設の必要に繋がった、家庭の分散・核家族化に拍車をかけたのも、この高度成長であった事を忘れてはならないでしょう。技術革新により私たちは、過度に、使いこなせない程の便利さを手にする一方、家庭の幸福や、家族のつながりの中に何か大きな欠落したものを思わせる悲惨な出来事を多く目にしていくのも事実です。

将来の日本の人口構成バランスがどのようになり落ち着くか分かりませんが、四半世紀続くであろう超高齢社会を潤いのあるものにし、望ましい家庭環境と地域社会を保つための拠り所として、施設の役割は益々大きくなる事でしょう。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

「多床室」だより

竹中 久美

私たち介護職員は職員同士で年7回の施設内部研修を行っております。

昨年十一月は『個別ケア』をテーマに話し合いました。個別ケアとは個人を尊重して柔軟に対応し、その人らしさを活かす援助です。

対象は入居者様全員です。四〇名様がいて四〇以上のアイデアが挙げられました。しかし生活の場が集団ですので個別とはいえ妥当点を探らなければなりませんし、実際に実行されるのは一部となりますが『〇〇さんはこんな事が好きだから、こんな事出来ると良いね』など各職員が入所者様を思う気持ちを知り、意見交換が出来たことが良かった研修でした。

現在、面会に制限があり、ご家族様にはご不便をおかけしております。

しかし、入居者様にはなによりの『楽しみ』でありますので宜しくお願い致します。新年を迎え、今年も入居者様の笑顔がいっぱい作れるように職員一同頑張ります。



「雅」ユニットだより

高嶋 さだ子

明けましておめでとございます。

一年を通して色々な行事をしてきました。外出の季節になると今回は何処に行こうかと、頭を悩ませながら、皆様に喜んでいただける所の情報収集を楽しみ、リハビリ体操や卓球バレーなどは普段は「いいわ」と言われる利用者様をお連れすると驚く程の活躍をされ、職員や他の利用者様から声を掛けて頂き、笑顔になり会話が多くなってきました。これからも皆様に声をかけて行事に参加して頂けるようにしていきたいと思っています。

今年一年、利用者様が笑顔で過ごせますようにユニット職員で頑張りますので、宜しくお願い致します。



「悠」ユニットだより

平野 幸子

新年明けましておめでとございます。

新しい年を迎え新鮮な気持ちを満喫しております。昨年は、秋の遠足で木更津イオンに、食事&お買い物へ行き、沢山美味しい物を食べたり、おやつを買って楽しい時間を過ごされました。

今年も入居者様の笑顔で楽しくなる行事を計画して一緒に楽しく過ごしていきたいと思えます。毎日、ラジオ体操を日課で行い、大きな声

で掛け声をかけて行っている入居者様の元気な声に職員も聞いていてとても気持ちよく元気が出ます。卓球バレー、リハビリ体操など頑張って体を動かして参加されています。

今年も穏やかに過ごせるよう職員も支援させて頂きますのでどうぞよろしくお願い致します。



「和」ユニットだより

和田 宏典

新年、明けましておめでとうございます。昨年は大変お世話になり、心よりお礼申し上げます。今年も宜しくお願いいたします。

私が和ユニットに異動して今年で二年になり月日が経つのが早く感じております。昨年は春の遠足や日々のレクリエーション等いろいろな行事やレクリエーションに参加させていただきました。特に遠足では皆様の意見を聞きながらプランを考えさせていただきました、一人一人の趣向を聞く中で二年間一緒に過ごさせてもらっていてもまだまだ新しい発見があると勉強になりました。

今後も皆様にご満足いただけるような行事やレクリエーションの提供が出来るよう日々精進していきたいと思えます。

長くなってしまいました但今年度も入居者の皆様が健康で楽しく日々をお過ごしいただけるよう和ユニット職員一同、より一層頑張っていきたいと思えますので宜しくお願いいたします。

厨房だより

増田 佳織

望みの門富士見の里で厨房の仕事に携わらせて頂いてから一年半が経ちました。

初めての経験やわからないことだらけの中、先輩方のご指導を頂き、今日まで何とか頑張ってきたことができました。

利用者の皆様にとって日々の食事は楽しみの一つであると思います。「美味しいと思っただけかな?」「残食が増えたけど…体調を崩されているのかな」など、食事を通して利用者様に思いを寄せる様になりました。厨房では、利用者様のお一人お一人に即した調理方法や形態のお食事をご用意しています。

また寒い日が続き体調不良や病気の流行が心配ですが、食事を通して笑顔で過ごして頂けるように微力な私ですが頑張っていきたいと思えます。



健康管理室だより

鷲尾 紀子

北風が身に染みる季節となりました、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、寒さが本格化して、空気も乾燥するようになりました。インフルエンザは乾燥した空気で活発になりやすく、咳やくしゃみで飛ぶ唾沫の飛沫と一緒に、辺りに散らばります。

そのインフルエンザウイルスが苦手としていたものが、以前話題になった緑茶ポリフェノール。普段の飲用で十分な効果を発揮しますが、紅茶でも緑茶同様、茶葉にポリフェノールが含まれています。

緑茶も紅茶も飲用頻度が高いほどインフルエンザに罹りにくくなるようです。

風邪、インフルエンザの多い季節、二十分毎にお茶を一口飲むだけで出来る風邪予防、試してみたいかがでしょうか?もちろん、手洗い、うがいも忘れずに。

今年もよろしくお願ひ致します。



事務所だより

介護支援専門員 兼 介護員

石野 美衣

明けましておめでとーございませう。

新しい年を迎え、お健やかな日々をお過ごしのことと存じます。昨年の十一月から専任の介護支援専門員として携わる事になりました。よくケアマネジャーと、介護支援専門員は違ふのか？と申う質問を受けますが、呼び方が違ふだけで同じです。介護支援専門員の仕事は、利用者様やご家族様が、施設でどのような生活を望まれているのかをお聞きし、安心、安全に過ごして頂く様、考えプランを立てています。日々の業務を通して、利用者様、ご家族様に教わることも多いため、皆様の率直な意見、ご感想を大切にし、自分自身の成長と繋げていきたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。



新任者のご紹介

① 牧野 晴美 さん (調理員)

十一月七日より富士見の里厨房で働かせていただいております。毎日周りの方に助けていただきながら、何とかお食事時間にお出しできる様に頑張っております。私自身も周りの方のお手伝いが出来るように頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

② 鈴木 千尋 さん (介護員)

十二月より介護職員として入社致しました鈴木千尋と申します。これまで、老人保健施設に勤めておりました。この度、ご縁を頂き富士見の里で働かせて頂くことになりました。先輩方のご指導のもと、一日も早く仕事に慣れて独り立ち出来る様一生懸命頑張らせて頂きますのでよろしくお願ひいたします。



行事予定

- 1/1 元旦礼拝
- 1/2 夕食 お寿司 (外注)
- 1/9 新年祝賀会
- 1/16 お誕生会
- 1/25 県指導監査
- 2/20 お誕生会
- 3/20 お誕生会

毎月第4水曜日 駄菓子屋サービス

お願ひ

施設では、排泄介助用の綿布を必要としております。古い物でも構いません。

ご家庭でご不用になった綿布(タオルなど)がございましたら御寄付賜りますよう宜しくお願ひ致します。